

音楽療法研修会とALS交流会 報告

○音楽療法について

2010年3月2日、釧路保健所主催で釧路労災病院にて、和・ハーモニー音楽療法研究会の中山先生、中島さんによる研修会が行われました。

チリ地震による津波の心配もありましたが、当日は影響もなく、お天気にも恵まれたおかげで、ALSの患者さん、ご家族初め、多くの神経難病患者さん、介護関係者の方々が参加されました。

皆さんで、春の歌を唄い、音楽ゲームなどをして、楽しいひとときを過ごしました。

音楽療法は身体的生体として、ストレス降下や呼吸安定などの効果が現れています。

みなさまも、機会がありましたら参加してみてください。

最後に、口のまわりの筋肉のストレッチです。少し唇に力を入れて「うみ・うみ・うみ……」といいながら、「海」の歌をうたいます。「パ・タ・カ・ラ」と大きく口をあけて発声の練習をします。

(谷津 記)



○釧路保健所主催ALS交流会について

音楽療法終了後、釧路保健所主催の交流会が14:10～15:00まで釧路労災病院で開かれました。

患者さんとご家族が8人と私たち（深瀬さんご夫妻、新屋さん、谷津さん、松田）5人に釧路保健所の小野寺さん、根室保健所の方や病院関係者、事業所の方なども参加しての交流会でした。

患者さんは3年目の方で今、手が不自由な方、ご主人が患者さんの方は、発症8ヶ月で今、人工呼吸器を付けて入院中、ALSと診断され10ヶ月で、なかなか納得出来ず岡山の病院まで診察を受けに行っただけの方など率直に今の状態を話され、次にどうしたらよいのかを考えあう機会に成りました。周りで聞いてくださっていた病院、事業所の関係の方の協力がなければ自宅での療養も介護も、不安が一杯だということも分かっていたように思います。患者さんやご家族の方が今の状態を積極的にお話くださり、本当に良いお話し合いが出来たように思います。

保健所の小野寺さんから、メールをいただき釧路でも患者さん、ご家族の横のつながりが出来るようにと、願われておりました。私たちALS北海道支部も微力ながら支援できたらと強気思っただけで帰ってまいりました。

（松田 記）

